

2025年度 出題内容の分析と出題の意図

生 物

公募制推薦入試 前期日程

●出題内容

試験時間	60分
出題形式	大問ごとに異なる分野の文章が提示され、空欄補充や適文選択が出題される。
解答形式	マークセンス方式
難易度	いずれの日程においても、教科書に記載されている内容から逸脱した問題は出題されておらず、重要用語に関する知識を中心とした基本～標準レベルの問題が出題されている。計算問題や実験考察問題も出題されているが、教科書の内容を理解できていれば十分に対応できるレベルである。
問題の内容（構成）	〔Ⅰ〕生物の系統と進化 〔Ⅱ〕細胞 〔Ⅲ〕バイオテクノロジー 〔Ⅳ〕遺伝子の分配 〔Ⅴ〕花芽の形成

●出題の意図

出題は、「教科書の内容を偏りなく理解している」ことを問う内容になっている。それぞれの単元について、教科書に登場する専門用語の意味や、専門用語同士がどのようにつながっているかなどについて、どれくらい理解しているかを知ることが出題の目的である。高度な知識をどれくらい知っているかではなく、基礎的かつ重要な知識をどれくらい正確に理解しているかがポイントとなる。

●受験生へのアドバイス

勉強は、教科書、教科書のレベルに基づいた問題集、過去問等を反復して学習しよう。また、教科書にある「コラム」や「発展」等のページに書かれている内容にも目を通しておくと、なお良いであろう。

2025年度 出題内容の分析と出題の意図

生 物

一般選抜 前期日程

●出題内容

試験時間	70分
出題形式	大問ごとに異なる分野の文章が提示され、空欄補充や適文選択が出題される。
解答形式	マークセンス方式
難易度	教科書の内容を逸脱した問題は出題されておらず、重要用語に関する知識問題を中心に出題されている。全体を通して、難易度は基本～標準レベルであり、基礎的な学力がしっかりと身につけているかを問うている内容だといえる。
問題の内容（構成）	〔Ⅰ〕生物の進化 〔Ⅱ〕カエルの発生 〔Ⅲ〕ヒトの体内環境と免疫 〔Ⅳ〕生態系

●出題の意図

本問題は、高等学校で学習する「生物基礎・生物」に関する基本的な知識を広く身につけているのか、更に生物に関わる現象や仕組みについて正しく理解しているのかを主に問うものとなっている。また、一部の問題は、生物に関わる知識や問題で示した情報を用いて、正解を導くための応用力も測るものとなっている。

●受験生へのアドバイス

①重要用語を中心に基礎的な学力を身につけておこう

出題の傾向として、どちらの日程でも穴埋め問題や重要用語に関する設問が大半を占めている。まずは、学校の授業などで学習した基礎的な内容を覚えているか確認していくところから始めてみよう。

「生物基礎・生物」の内容がバランスよく出題されているため、定期試験などの復習は必ず行い、自身の苦手分野の確認・対策をしっかりと行っておくこと。

②問題集などを利用し、学習した知識が定着しているのかどうか確認しよう

いずれの日程においても、基礎的な知識を問う問題が多く出題されている。基礎～標準レベルの問題集を繰り返し解き、十分な演習を行っておこう。また、図で示したものの名称を解答させるような出題もされているため、教科書に記載されている図を必ずチェックしておこう。

③過去問を解いて、本番の試験に備えよう

試験はマーク式であり、記述の正誤の判断を要する出題が散見される。不正解となる選択肢には、受験生が勘違いしやすい内容がよく出題されているため、十分な対策をしておく必要がある。本学や同じマークセンス方式である大学入学共通テストの過去問などを積極的に活用し、間違えた問題はノートなどにメモしておこう。

また、時間配分を意識した演習も行い、試験時間内に速く正確に問題を解いていくことを心がけておこう。